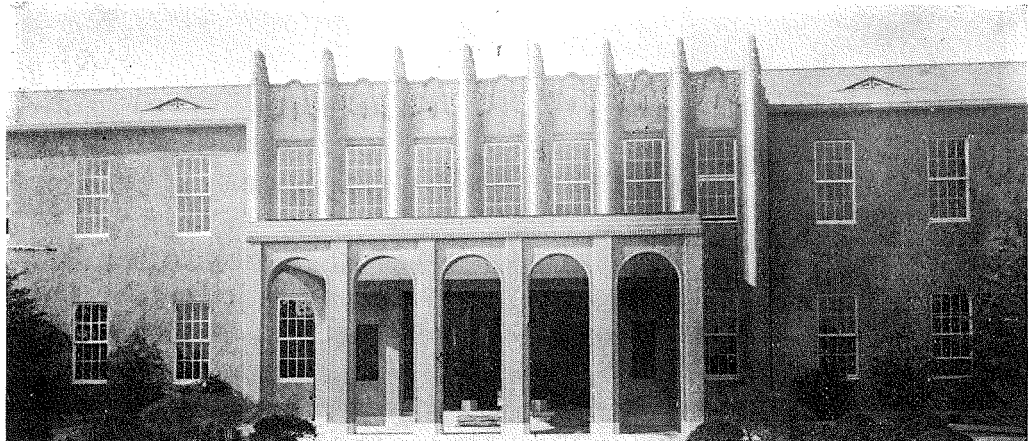


THE MAIN ENTRANCE OF THE NEW TEMPORARY BUILDING HOUSING THE DIET. THE FORMER BUILDINGS BEING DESTROYED BY FIRE ON SEPTEMBER 18th, 1925. AND THE NEW ONES READY FOR OCCUPANCY WITHIN SIXTY DAYS OF PLACING THE CONTRACT FOR THE NEW STRUCTURE.



(1) 新假議院中央部玄關

(1) Assembly Room of The House of Peers Showing Part of The Visitors Balcony.

建築界の新記録を作った

假議院建築工程及其概要

設計 九月十八日舊議院全燒。其晩再建築に付當局協議あり、翌十九日より直に設計に着手し同廿六日(八日間)に完了。

設計に従事した者、晝夜延人員約五百人、工事着手後の製圖従事者總人員約六百五十人。

燒跡片付工事 指名入札に依る落札請負者安藤組、九月廿二日着手同廿八日片付終了。請負金 10,000 圓。

貴族院假事務所 平家建百六十一坪五合、指名入札に依り請負金 7,280 圓にて竹中工務店落札(木材其の他官給)。

九月二十五日契約着手、十月四日落成。

假議院建築 は隨意契約に依り、九月廿六日設計完了と同時に清水組、大林組、大倉土木安藤組、松村組の五名の請負者を指名し、

工事施工希望の有無を確め翌二十七日(日曜日)設計圖の説明を爲し翌二十八日午後二時迄に見積書を提出、調査の結果同日晩八時工費決定、翌二十九日契約、同日起工。

第一區 清水組

中央部 請負金額約十四萬七千圓

第二區 大林組

貴族院本會議場及其附近 請負金額十八萬九千圓

第三區 大倉土木株式會社

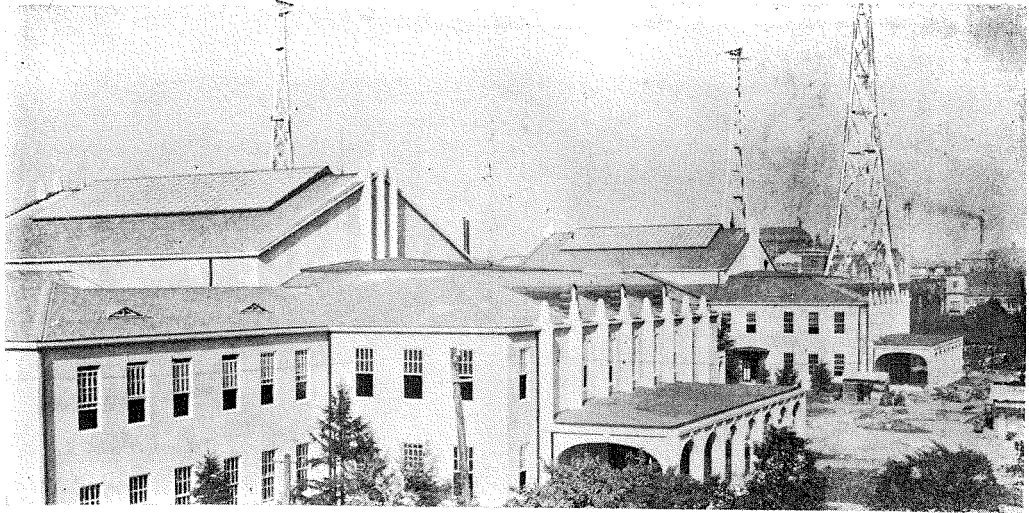
衆議院本會議場及其附近 請負金額十八萬三千圓

第四區 安藤組

貴族院後部 請負金額十一萬七千圓

第五區 松村組

衆議院後部 請負金額十二萬一千圓



(2) 新假議院前景 向つて右貴族院左衆議院

(2) Front View of The Diet Building With The House of Peers to The Right and That of Commons to The Left.

建物坪數

一階	3.354坪餘
二階	2.950坪5餘
合計	6.304坪5餘
殘存建物修理坪數	883坪3餘
總延坪	7.187坪9餘

外觀 中央部は皇室用及び兩院共用とし貴衆兩院の配置は従前通り、唯軒高幾分低く外壁を鐵網張モルタル塗及洗出し塗にし、且急速を要する工事なるが故に成る可く單純なる形式を選び外觀は近世式を採用。

間取 舊建物の基礎を成る可く利用するの目的を以て従來の間取に據り、出來得る限り簡單に而も便利なる様改善を加へ議場は普選に因る議席増加の爲めに豫め奥行を擴張された。

階數及び高さ 階數は従前通り二層、其軒高は建築法規の關係上一般に低くし、議場を除くの外は總て三十尺以下である。

構造 骨組は木造、外壁は防濕紙を下張させる鐵網モルタル塗、帶黃色洗出し及ひ粗面塗仕上を施し、屋根は鐵錆色石綿スレート葺。

屋内壁面及天井は火氣を扱ふ場所は金剛板其の他は石膏製ボード張とし、主要なる室

は壁紙張、便殿及玉座は裂地壁代其の他はエバー及びペンキ塗、議場は特に上張をキャンバス張エバー塗した。

災厄に鑑み建物は五區に劃ち、十箇所に防火壁を設け其の通路には自動捲上げ防火扉を取付けて居る。

議場 議席數増加の關係上貴衆兩院共に後方に擴張し建築中の本議院(前號掲載)と同様階段造り、通路は緩勾配の斜面となり天井はキャラコ張、床は茶褐色大和織の敷込み議席裂地には濃縹色、議場上部は鐵網入硝子屋根で採光善く従前は見違ふ改善である。

貴族院、七十尺、八十三尺二寸、玉座五坪百六十四坪餘(舊百四十四坪五)。

衆議院、七十尺、八十三尺二寸、百五十九坪餘(舊百五十二坪)高さ共に三十八尺。

議席 貴族院四百十八席、衆議院四百六十四席。

新聞記者席 貴族院七十九席。衆議院九十席
傍聽席 貴族院九十二坪六合。衆議院九十二坪六合。

敷物窓掛 議場敷物は和織、主要なる室は絨緞敷、その他は總てリノリウム敷である。中央部及議場周圍廊下通路は絨緞若くはマ

ット敷込で窓には日除を付し主要なる室には窓掛の設備がある。

諸設備 煖房は熱空氣式及直接蒸氣煖房法を併用し、且議場には機械的排氣法を講じ其の外議場通信設備、電燈、電話、電鈴、避雷針、火災報知器、電氣時計、登退廳表示器、電熱器、給水給湯、排水消火栓等の設備を施行。

工期及職工 大正十四年九月廿九日起工同十月廿一日上棟式を行ひ本館建物は十二月五日竣工残工事は大部分十二月二十日竣成した。

十二月三日迄

の従事職工數は大約

建築工事	120.062人
煖房換氣工事	3.334人
電氣工事	2.863人

經費 工事費大約

建築工事	827.494圓餘
家具裝飾工事	247.318圓餘
諸設備工事	315.261圓餘



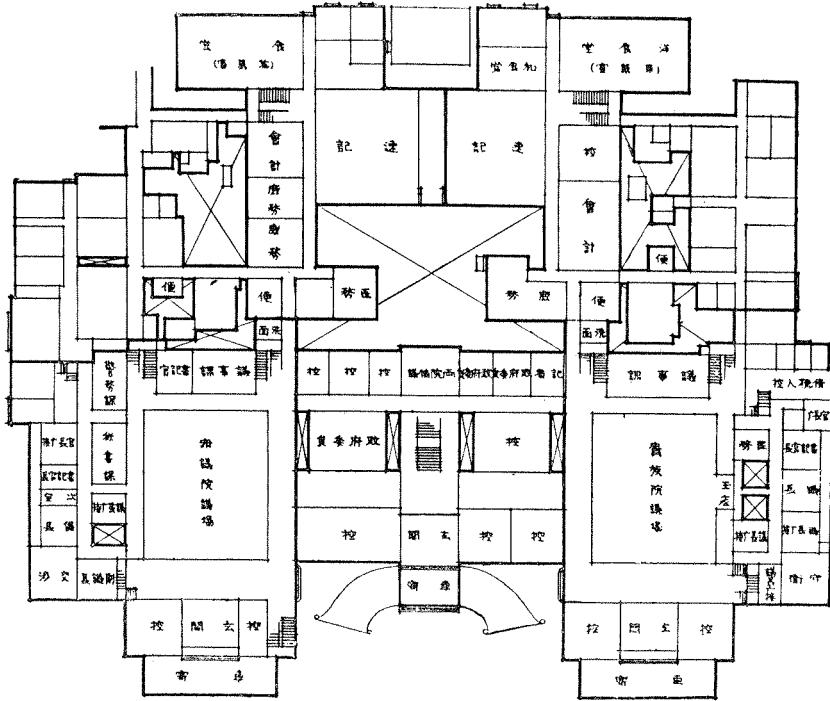
(3) 新假議院の内部議席並傍聽席(貴族院假) 硝子天井、窓等採光換氣の改美を示す

(3) Seating Arrangement of the Auditorium for the House of Peers.

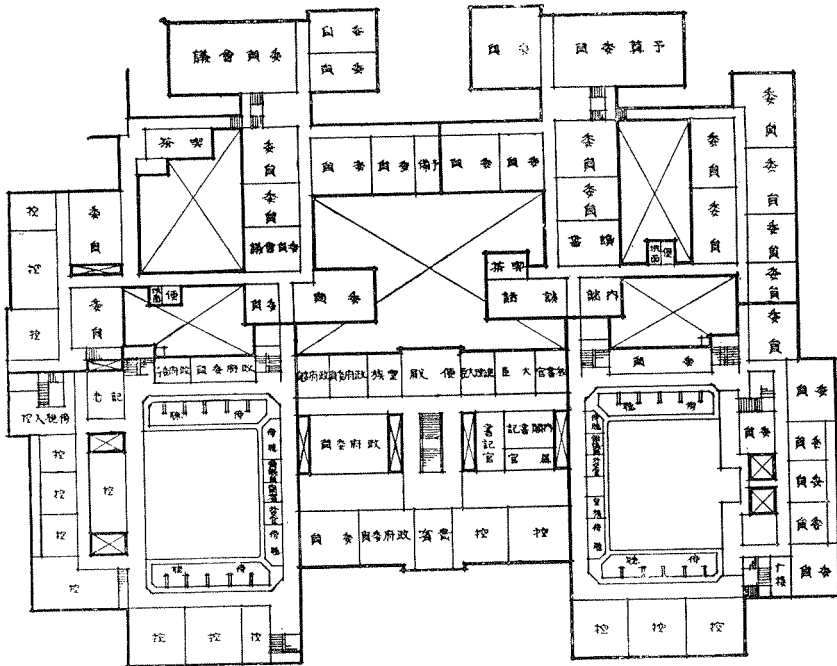
修繕其他工事	41.667圓餘
燒跡片付	10.422圓餘
雜工事及雜費	49.721圓餘
合計	1.491.883圓餘

備考 官有木材鐵材使用の代價、残工事費及事務費等未清算に屬するものは右の經費額中に計上してない。

假議院一階平面圖



假議院二階平面圖



Plans of The First and Second Floors.